Q：寒冷地仕様の装備を教えて。

寒冷地仕様をメーカーオプションにて、ご用意しています。
選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。
なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

＜○：設定あり ＞

装 備	説 明	寒冷地仕様	標準仕様	ハイブリッド車			ガソリン車			
				2WD			2WD		4WD	
				F	GL	GX	F	G	F	G
冷却水（LLC）	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、 濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならないと凍結しなくなります。	LLC 50%	LLC 30%	○	○	○	○	○	○	○
耐チップテープ	雪道走行時の飛び石や氷の塊などによる キズを受けやすい車両下部の保護を目的としたテープです。（下図1）	あり	なし	○	○	○	○	○	○	○
牽引フック	雪道で車が側溝に突っ込んだり、立ち往生して動けなくなったときなど、 車を引っ張る必要が有る時に使います。	フロント＋リヤ	フロントのみ	○	○	○	○	○	○	○
ウインドシールドワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用 （モーター）	標準	○	○	○ ＊1	○	○ ＊1	○	○ ＊1
リヤ間欠ワイパー	一定の間隔をおいて作動するワイパーです。	あり	なし	＊2	＊2	○	＊2	○	＊2	○
ドアミラー	ドアミラーを暖めて霜・露・雨滴を取り除くものです。	ヒーター付	ヒーターなし	○	○	○	○	○	○	○
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、 通常のヒーターに加え、暖房を補う装置（電気式補助ヒーター）です。 エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。 即熱性があるため、短時間で暖房がきます。	PTCヒーター あり	PTCヒーター なし	○	○	○	○	○	○	○
リヤヒーターダクト	後席の暖房効果に貢献するため、 リヤシート足下に温風を送るためのダクトが設定されます。	あり	なし	○	○	○	○	○	○	○
バッテリー	バッテリーの容量を上げます。	LN2	LN1	＊3	＊3	＊3	＊4	＊4	○	○
スターター	エンジンの始動性を向上するため、スターターの容量を上げています。	1.2kW	1.0kW	＊5	＊5	＊5	＊6	＊6	○	○
ミリ波ヒーター	ミリ波レーダー専用カバーへ付着した雪等を取り除くものです。	あり	なし	○	○	○	○	○	○	○
カウルトップルーバー	カウルトップルーバー（フロントガラスとボンネットの間のパネルワイパーの下に 付いている樹脂の板）の真ん中寄りが格子状になっているが、 その内側に寒冷地用で樹脂製のメッシュのネット（金網）が付き、雪入りを防止します。 外観上は、一見変わりません。（格子の中を覗き込めば見えます。）	寒冷地用	標準	○	○	○	○	○	○	○

■ウオッシャータンクの容量は、寒冷地仕様を選択しても変わりません。（タンク容量：2.3Ｌ）
＊1 ワイパーモーターが強力になるほか、「間欠ワイパー」から「時間調整式間欠ワイパー」に変更となります。（GXグレード、Gグレード以外は、「時間調整式間欠ワイパー」が標準装備です。）
＊2 リヤ間欠ワイパーは、標準装備です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。
＊3 寒冷地仕様を選択しても変更はありません。【補機バッテリー：LN0（欧州規格）】
＊4 寒冷地仕様を選択しても変更はありません。【補機バッテリー：LN2 ISS（欧州規格）（アイドリングストップ車用に規格化されたバッテリー）】
＊5 ハイブリッド車は、発電モーターを使用してエンジンを始動するため、ガソリン車のようなスターターはありません。
＊6 1.7kWが標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

＜上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備＞

装備	説明
リヤフォグランプ ＊7	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。（下図2）
ウィンターブレード ＊8	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。 そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

＊7 寒冷地仕様を選択した場合のみ、リヤフォグランプをメーカーオプションで選択できます。
＊8 ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。

図1

図2